

【目標】

◆「家庭分野の目標」

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

【3年間の学習内容】

「家庭分野」

A 家族・家庭生活

B 衣食住の生活

C 消費生活・環境

【評価の観点・方法】

(1) 「知識・技能」

実践的・体験的学習活動を通して、基本的な知識を身につけているか、生活との関わりを理解できているか、定期テスト、レポート、実習や作品などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力等」

設計や製作活動における既得の知識・技術の活用状況や生活を工夫したり創造したりする能力を実習作品、レポート、定期テストなどで評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

単にノート提出や授業態度といった情動的側面や知識・記憶を問うものではなく、製作実習やプレゼンテーションなどへの知識・表現力・思考力等の応用や作品形状や方法の改善、実際の場面での課題解決の力について毎時間の学習の取り組み状況、実習課題、レポートなどで評価します。

※ 通知表の評定について

上記の3観点における到達度の合計により、総合的な到達度として各学期と学年末に5段階評定を行います。各観点の比重は均等とし、その到達度は通知表にABCで記載されます。

観点別評価ABCの定義

- A 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C 「努力を要する」状況と判断されるもの

- 5 「十分満足できる」状況と判断されるもののうち特に程度の高いもの
- 4 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- 3 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- 2 「努力を要する」状況と判断されるもの
- 1 「努力を要する」状況と判断されるもののうち一層努力を要するもの

家庭分野 第1学年 指導・評価計画

	学習指導要領の項目	学習活動	評価項目	
1 学 期	ガイダンス			
	B 衣食住の生活 【衣生活】			
	(1)衣服の選択と手入れ			
	ア 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 イ 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。 ウ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。	ワークシート ノート  ワークシート ノート  布の組織図製作 ワークシート  期末考査	知・思   知・思   知・思 思・学  知・思・学	
2 学 期	(2)生活を豊かにするための布を用いた製作			
	ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。 イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。	夏休みの課題  基礎縫い実習  布を用いた製作実習 ワークシート ノート  期末考査	思・学  知・思  知・思  思・学  知・思・学	
	3 学 期	B 衣食住の生活 【住生活】		
		(1)住居の機能と安全な住まい方		
ア 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。 イ 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。 ウ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。		冬休みの課題  ワークシート ノート  ワークシート ノート  ワークシート ノート  期末考査	思・学  知・思   知・思   思・学  知・思・学	

